

# 平成28年度 英語が好きになる学校づくり 取組報告書

事務所名	中部	学校名	北上市立黒沢尻北小学校	TEL	0197-65-3313
------	----	-----	-------------	-----	--------------

## 英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする子どもの育成

### 【ねらい】

- 子どもたちが楽しみながら英語活動を行い、意欲を高める活動の工夫を図る。
- 校内で共通理解を図ったクラスルームイングリッシュを使って、児童が英語を使おうとするモデルになることができる。

### 【具体的な取組】

#### 1 授業指導力向上研修

本校の従来の英語活動の問題点を確認し、全職員で次の点を共有した。

- 年間指導計画に一貫性がなく、単語や文型に偏りがある。
- 表現や活動を一度しか扱わないため、経験が蓄積されにくく慣れ親しむまでにはいられない。
- 単語や文を繰り返し唱える活動や単なるゲームのため、英語を使わなければならない理由が児童に理解されにくい。また、知的好奇心が刺激されず、意欲が持続しない。

子どもの意欲を高める活動の工夫として次の3つについて重点的に取り組み、教師一人一人の授業力の向上を図った。

- 子どもの興味・関心の広がり考えた題材の工夫を進める。(題材の工夫)
- 1年生から6年生まで、学年に応じた単語や表現を使い、繰り返し使われるよう活動を工夫する。(活動の繰り返しの工夫)
- 英語が必然性をもって使われる場の工夫を図る。(場の設定の工夫)

### 題材の工夫

- 子どもの発達の段階や生活経験を考えた題材を取り上げ、教材化する。  
子どもの身の周りから、子どもたちの生活を表現する単語や文を探す。



身近なものや他教科で学習したものを取り上げて興味をもたせ、活動への意欲を高める工夫。

- リスニングやストーリーによる聞くことを重視した活動を取り入れ、知的好奇心を刺激したり、分からない言葉を想像させたりしながら聞く態度を身に付けさせる。

3年生「大きなかぶ」



5年生「北上」



- 授業後の教師の振り返りを毎時間行い、題材や活動の改善を試みる。

第3学年  
学年研究部の先生は、英語活動について打ち合わせや学年会等で話題にしてください。短い時間でいいので、できれば指導した日のうちをお願いします。学年から出された意見を簡単に下記にまとめ、研究主任と専科の先生に伝えて下さい。

月日	題材	振り返り(自由記述)	備考
9/25 (Fri)	進化したゲーム(復習) 文房具を4種類集める。	・今日から新しいめあて「新しい表現を知ろう」となった。めあてが変わったことにより、子ども達も新鮮だったと思う。 ・進化したゲームと、文房具を集めるゲームは子どもたちの意欲UPにつながるゲームだった。 ・文房具を集めるゲームで、必然性があると声も大きくなり、何度も同じ文をくり返し言うこと。文が頭に入らずに入っていくようだ。	・必然性を伴ったゲームは高学年には不向き。 ・楽しい有効な学習であった。 ・必然性は大事。 ・子ども達は自然と覚えていた。 ・花

担任間で子どもの様子を交流しながら記録し、研究主任と英語担当とともに振り返り、子どもたちが意欲的に活動できるよう改善に努める。

**活動の繰り返しの工夫**

《指導過程》

○ 子どもの興味・関心を考えながら 1 単位時間の活動の組み立て方を工夫する。

【本時の主題材に向けて、要素を分割したものを積み上げていく指導過程の実践】

1 年生 題材名「からだ」 1 単位時間に「からだ」に関わる活動を段階的に組み合わせ、慣れ親しみを図る工夫

歌“Head Shoulders ～” 「ふくわらい」 「monsterをかこう」

【既習の題材と主題材を組み合わせる指導過程の実践】

4 年生 単元名「学校にあるもの」 1 単位時間に既習内容と主題材を組み合わせ、慣れ親しみを図る工夫

「進化ジャンケン」(既習) 「学校の準備をしよう」(主題材) 物語「どんぐりとやまねこ」

○ 授業の終わりには、High Five を行い、一人ひとりが指導者と 1 対 1 で話す時間を設ける。

What soup do you like? I like turnip soup. Yes, I can. Can you dance?

《年間指導計画》

○ 同じような活動でも、学年により、単語や表現を変えて、低学年から高学年まで取り上げる。

低学年 高学年

やおやさん 文字レストラン

Here you are. Potato please. What would you like? I'd like ~, please.

○ 曜日、月、数字、アルファベットは、やり方を変えて低学年から繰り返し経験させる。

低学年 高学年

アルファベットステップ アルファベット並べ

Y! アルファベットステップ アルファベット並べ

**場の設定の工夫**

○ 慣れ親しんだ表現を使ってゲームや活動ができるように、必然性をもって英語が使われる場や小学生なりに現実味を感じられる場の設定を考える。

4 年生「学校の準備をしよう」 6 年生「うそをついているのは誰？」

生徒役 教師役 Do you have an abacus? No, I don't. Do you have an eraser?

## 2 英語活動を支える日常実践

### (1) ちょこっと英会話（毎日、朝の会の2～3分の時間）

英語でのやりとりに慣れ、英語活動に参加する意欲を高める。

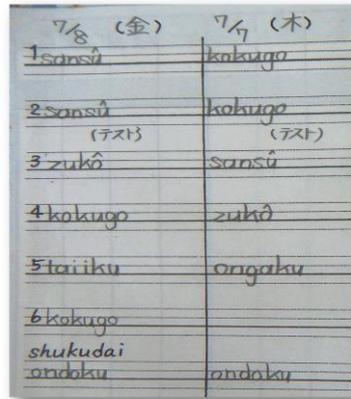
3年生「英語で計算」



4年生「～はどこですか」

### (2) ローマ字連絡帳（3～6年生）

国語でローマ字を学習後、次の日の予定をローマ字で書かせ、アルファベットと英語の慣れ親しみを図る。



### (3) 給食献立の英語放送（毎週金曜日）

放送委員会の児童が給食献立を英語で放送し、英語の慣れ親しみを図る。



Today's lunch is rice, milk...

## 3 英語運用能力向上研修

ALT や英語担当教員によるクラスルームイングリッシュ・アクティビティー研修会を行う。

北上市教育研究所「小学校外国語活動研修講座」や中部教育事務所「英語教育推進力スケード研修会」に参加し、様々な活動の体験を通して授業力向上とともに英語運用能力の向上を図る。



英語担当によるアクティビティー研修



学年でリスニング研修



学年でアクティビティー研修



指導主事と指導案検討会



研究所「外国語活動研修講座」へ参加



ALT と英語担当による CLIL 研修

## 【成果】

### 1 児童の意欲を高める活動の工夫に関わって

#### ○英語活動アンケート集計結果より

英語の授業は楽しいですか。(H28)

	楽しい	どちらかといえば 楽しい	どちらかといえば 楽しくない	楽しくない
低学年	86%	12%	1%	1%
中学年	83%	16%	0%	1%
高学年	62%	32%	5%	1%

どの学年も9割以上の児童が英語活動を楽しんでいることが分かった。児童の発達段階や生活経験を考えた題材を取り入れることで、英語活動に意欲的に取り組む児童が増えたと考えられる。

- リスニングは、どの学年の児童も楽しみにしている。絵や映像を見ながら聞くことで、分からない単語も想像しながら聞くことができ、楽しいと感じられたと考えられる。
- 単なる繰り返しではなく、構文は同じでも使う単語や場面を変えるなど体験型の活動を複数繰り返すことで、自信をもって意欲的に話す児童が増えた。
- 思わず話したくなる、聞きたくなる場を仕組むことによって子どもが進んで楽しそうにコミュニケーションを図る姿が見られた。
- 勝ち負けや順位にこだわらないゲームや活動を取り入れることで、英語を使って友だちと活動することを楽しむ児童が増えた。

### 2 教師の英語運用能力に関わって

- 指導過程を確定したことで、教師が使うクラスルームイングリッシュがパターン化し、最小限で無理なく英語の指示が出せるようになった。
- 担任が英語を使う姿を積極的に見せたことで、児童も意欲的に英語を使ってリアクションするようになった。